

ひろばドリーム

発行番号： No. 336号
発行日： 2023年3月31日
編集発行： 県ドリームハイツ自治会 広報部
連絡先： TEL045-851-2596
E-mail： kdreamj-1@woody.ocn.ne.jp

今年度退任される役員の方々に、お疲れ様でした

自治会役員退任の挨拶

2年間ドリームハイツ自治会役員としてやってきました。さまざまな方々と交流が持て、非常に楽しく過ごすことができました。今年で退任しますが、住民の皆様ご協力いただき、誠に有難うございました。
副会長 B 櫻井 威

昨年に引き続き、本年も役員を継続させていただきました。ドリームハイツ住民の皆様へ安心・安全の下、暮らしやすい環境づくりを基本に取り組んで参りました。一人では何もできませんが、住民の皆様、管理組合、監事、棟長、防災隊、役員の皆様等々のご協力により当面する課題に積極的に取り組むことができました。一方、コロナ禍の影響で本年度も夏祭りやドリームフェスタが見送られ実行できなかった事が悔やまれます。2年間の役員在任で感じたことは多くの住民の皆様が自治会に対する「期待の大きさ」です。各役員の皆様方日々専門担当に責任を持ち積極的に課題に取り組んでおりました。私事今般退任いたしますが、本年度役員が引き続き次年度も継続し活動を行って参ります。より充実した自治会活動に取り組んでいただけたと考えております。2年間本当にありがとうございました。
副会長 C 水嶋 勉

皆様方に色々と教えて頂き、活動ができました。1年間、ありがとうございました。
事務局長 鹿内 広美

令和3年度定時総会の自治会会則の改訂により、役員任期は2年になりました。しかし選挙細則は3年度内に改訂されたため、3年度の役員には適用されず、2年任期は4年度からの適用になります。今回、補充の方を含め3年度からの役員3名の方が退任されます。

「駐輪場の調査をしました」

令和4年12月より、役員を中心に県ドリームハイツ内に駐輪している自転車について調査をしてみました。昨年度に引き続きの整理調査となります。結果、未契約で駐輪していた27台の自転車がありました。そちらの自転車には、まず黄色警告札をさげ、注意喚起させていただき、更に連絡のない自転車には、再度「警告」の用紙をつけ、対応しました。

一回目の黄色警告札で未契約に気がつかれ、使用料の支払いのため事務所に連絡をくださった方が大半ですが、その後の二回目の「警告」で、11台の未契約放置自転車が明らかになり、そちらは2月に管理組合の協力のもと整理となりました。

又、駐輪場契約され使用料の支払いを済まされていた方でも、前年度のシール添付のままの自転車の置場が、約60台分ありました。シール張替のお願いを個別にお手紙でお知らせし、45台の方にはご協力いただきました。

自転車駐輪場使用料が引き落としではない方は、次年度は、未契約にならないよう、事務所への支払いの方をよろしく願いいたします。

又、シール添付は、自転車調査を行う上で、重要なものとなります。次年度は、必ず自転車や置場に当年度のシール貼り付けをお願いいたします。

県ドリームハイツの環境美化保全のために、これからもご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<防犯交通部>



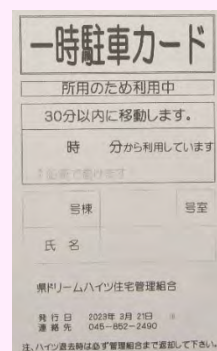
「一時駐車場の調査結果及び 利用ルール厳守について」

本年度5月から2月までの自治会防犯パトロールで調査した結果、利用ルールに違反した駐車台数は68台ありました。このルール違反とは、「一時駐車カード」が掲示していないか、あっても利用開始時間が記載していない長時間の駐車のことです。

一時駐車場の運用ルールは、管理組合の駐車場管理運営細則第19条に定まっています。

突発的な出来事で利用される場合もあるでしょうが、

30分以内の利用を厳守し、必ず「一時駐車カード」に利用開始時間を記入し、ダッシュボードの外部から見えやすい場所に掲示していただくようお願いいたします。



第4回幹事会報告

3月23日(木)に今年度最後の幹事会が今回も2部制で開催されました。(幹事総数84名の内、出席40名、委任状25名で会は成立。)

議事は令和4年度の自治会活動全般、各専門部、会計決算報告及び防災隊活動報告が行われ、質疑応答の後賛成多数で全て承認されました。

春季防災訓練実施

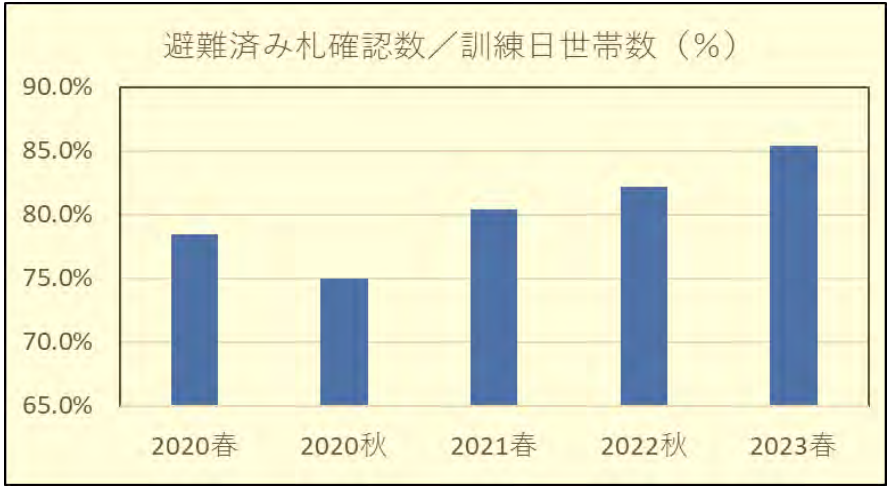
3月5日に春季防災訓練が行われました。コロナ禍のため安否確認及びその集計訓練、污水排水管破断確認訓練、ライフライン欠如対応訓練だけの実施です。（他に管理組合と防災隊で、停電を想定した管理棟への非常電源切換え訓練も行いました。）

安否確認の方法として、以前北側窓手すりへの手拭いぶら下げを行ったことがありました。訓練方法としては簡便でいいですが、実際の大震災を想定すると、窓際での作業は危険であり、また手拭いが見えない場合は、階段を上ってその部屋を確認しなければなりません。よって、従来通り避難済みと書かれたマグネットシートのドア貼り付けを方法として採用しています。その札を貼った世帯数を訓練日世帯数（空き家や長期不在を除く）で割った割合は、少しずつ増加傾向が見られ（表、グラフ参照）、全体に防災意識が少し向上しているのではと思われます。

<安否確認集計結果に基づく参加者割合>

訓練時期	訓練日世帯数	避難済み札確認数	割合
2020春	1413	1109	78.5%
2020秋	1430	1072	75.0%
2021春	1400	1126	80.4%
2022秋	1375	1130	82.2%
2023春	1387	1185	85.4%

2021秋・2022春は安否確認集計方法が異なるのでデータから除外



訓練当日、停電を想定した非常電源切換え訓練に見学に来られた戸塚消防署深谷消防出張所長の小山様から、防災訓練が住民をはじめとして管理組合、自治会、防災隊がシナリオ通りに役割を分担、協力して整然として行われていると感心され、お褒めの言葉を頂きました。

<自治会長 塚本>



各棟の防災幹事が本部へ報告
安否確認集計訓練

私はペットではありません
ありません

エサをあげないで!

カラスにエサをあげないで

カラスが増えたことにより、ゴミ集積場が荒らされる事例も比例してかなり増えています。集団で飛び回るカラスが怖くて、通路を通ることができないと小学生からの声も聞きます。先日は自転車のサドルがカラスにつつかれ、穴が空くなどの被害報告も受けました。

補足説明（環境省からの説明文も引用しています）

ハイツ内でカラスにエサを与えている人がいるとの声も聞きます。給餌をすることで、カラスは人が食べ物を与えるものだと思い、人を恐れなくなります。カラスは保護されている野生動物とは違い、普通に自然の中で生きて行くことができます。天敵がない都会のカラスは、給餌をすることで個体数が増えます。その結果、エサを求めてゴミ集積場に集まり、ゴミ袋を破いて生ゴミを食べ散らかすことにもなり、人に被害をもたらします。カラスへの給餌はやめましょう。

カラスは年に1回産卵するとのこと。繁殖期は3月から7月頃までとのこと。特にヒナの巣立ちの時期5月～6月に攻撃行動が激しくなるとのこと。お願いします、カラスには絶対にエサをあげないでください。

<環境衛生部>

自治会定時総会開催のお知らせ

2023年4月16日（日）13:00～

資源物売却報告 <会計より>

1月（12月回収資源物分）		発生量：kg					売却金：円
品種	ダンボール	新聞	雑誌	ミルクカートン	古布	アルミ缶	
発生量	2,650	1,660	6,370	30	780	350	
売却金							3,500
2月（1月回収資源物分）		発生量：kg					売却金：円
発生量	1,720	750	3,380	30	410	360	
売却金							3,600

編集後記

今年度最後の幹事会では、防災対策について自治会長、防災隊長からは班会議を行う事の意義があげられました。ある程度までの災害については身近な方の共助力が一番発揮できるとの考えからです。環境衛生部からは幹事会当日に事務所に来所された方のゴミ問題の現状について、写真（来所者が持参）を提示しながら窮状を訴えられました。広報でも環境問題については今年度4回掲載していますが、ボタン電池の処分など分かりづらい点をピックアップして説明をしていました。一般的と思われることについては省いていましたが、来年度は対処方法を知ってもらうことで解決できそうなことも掲載したいと思います。

ハイツ内には常日頃から管理されている方々の手による花壇があり、季節に応じた花が咲いています。これからの時期は一段と可憐さが愛でられるのではないのでしょうか。さらに、清掃をされている方々もおいでになり、来し方行く末綺麗なハイツとなっています。ありがとうございます。来年度も両名共担当させていただきますので、よろしくお願いします。<広報部>